

平成28年度
やまがた緑環境税活用事業の取組状況
(7月末現在)

県民みんなで支える新たな森づくり



やまがた緑環境税活用事業

平成28年9月
山 形 県

～ 目 次 ～

I 環境保全を重視した施策の展開	1
NO. 1-1 荒廃森林緊急整備事業	2
NO. 1-2 森林資源再生事業	3
NO. 1-3 森林資源循環利用促進事業	4
NO. 1-4 広葉樹林健全化促進事業	5
II 21世紀にふさわしい県民と森林の関わりの構築	
NO. 2-1 県民みんなで支える森・みどり環境公募事業	6
NO. 2-2 みどり環境交付金事業	12
NO. 2-3 やまがた絆の森プロジェクト推進事業	17
NO. 2-4 生物多様性戦略推進事業	19
NO. 2-5 鳥獣保護管理法推進事業	21
NO. 2-6 野生鳥獣捕獲体制強化支援事業	23
NO. 2-7 大型鳥獣等野生復帰事業	25
NO. 2-8 自然環境学習推進事業	27
NO. 2-9 総合支庁実施事業	
NO. 2-9-1 ・里山の森づくりサポーター育成事業	28
NO. 2-9-2 ・最上の自然環境教育マスター養成事業	30
NO. 2-9-3 ・みんな一緒に森林活動フィールド振興事業	32
NO. 2-9-4 ・おきたま森林・自然環境学習推進事業	34
NO. 2-9-5 ・出羽庄内公益の森づくり事業	36
III 新たな森づくりの推進	
NO. 3-1 やまがた緑県民会議	38
NO. 3-2 森づくりサポート体制推進事業	40
NO. 3-3 みどりの循環県民活動推進事業	43
NO. 3-4 森林の水源涵養機能の理解促進	45
NO. 3-5 やまがた緑環境税広報啓発事業	47

項目	環境保全を重視した施策の展開			NO	1
事業名	1-1 荒廃森林緊急整備事業 1-2 森林資源再生事業 1-3 森林資源循環利用促進事業 1-4 広葉樹林健全化促進事業				
事業費	785,141 千円	担当部局課	農林水産部 林業振興課		

1-1 荒廃森林緊急整備事業

管理放棄された人工林や病害虫等により荒廃した里山林のうち、水源地域の森林や集落に近い森林など、県民生活に密接に関わり緊急度の高い森林を整備する。

- 1 水源かん養など公益的機能の高い森林の育成（針広混交林整備）
- 2 スギ人工林の再生を起点とした環境に配慮した森林経営の展開（長期育成林整備）
- 3 病害虫等で荒廃した里山林の再生（里山林整備）

・平成28年度計画 1,400 ha

1-2 森林資源再生事業

再造林とその後の保育施業を、森林組合等が森林所有者に代わって一元管理し、森林の公益的機能を持続的に発揮する仕組みを構築

・平成28年度計画 80 ha

1-3 森林資源循環利用促進事業

①ラミナ等利用促進事業

間伐により発生した木材のうち低質材について、ラミナ（集成材）や合板、製紙・ボード用チップ等の用材として工場に出荷した場合に一定額を助成する。

（ラミナ等用材：400円/m³）

②バイオマス燃料利用促進事業

間伐等により発生した木材のうち低質材について、木質バイオマス燃料のチップやペレットの原料として工場に出荷した場合に一定額を助成する。

（間伐材の熱利用：2,000円/m³、間伐材の発電用：500円/m³、
森林経営計画認定森林の林地残材（熱利用・発電用）：500円/m³）

・平成28年度計画

ラミナ等利用促進事業	49,000 m ³
バイオマス燃料利用促進事業	25,000 m ³
合計	74,000 m ³

1-4 広葉樹林健全化促進事業

ナラ枯れ被害木を含む広葉樹林を伐採し、害虫の駆除と木材の有効活用を図るとともに、森の若返りによる森林の再生を図るため、広葉樹林の伐採・搬出を行なう森林所有者や素材生産業者などに、経費の一部を助成する。

・平成28年度計画

広葉樹林の伐採・搬出支援	6,150 m ³
合成集合フェロモン設置	2箇所

項目	環境保全を重視した森林整備の推進	NO	1-1
----	------------------	----	-----

事業名	荒廃森林緊急整備事業		
事業費	713,786 千円	担当部局課	農林水産部 林業振興課

1 目的

長期に管理放置され荒廃した森林の整備

森林整備面積 11,600ha + 新たな荒廃森林 (平成19年度～平成28年度)

2 事業概要

荒廃森林緊急整備事業の実施

管理放棄された人工林や病虫害等により荒廃した里山林のうち、水源地域の森林や集落に近い森林など、県民生活に密接に関わり緊急度の高い森林を整備する。

- 1 水源かん養など公益的機能の高い森林の整備 (針広混交林)
- 2 スギ人工林の再生を起点とした環境に配慮した森林経営の展開 (長期育成林)
- 3 病虫害などで荒廃した里山林の再生 (里山林再生)

・平成28年度整備実施状況 1,382.4 ha (計画: 1,400 ha)

単位: 面積 ha

地区名	針広混交林		長期育成林		里山林再生		計	
	箇所数	面積	箇所数	面積	箇所数	面積	箇所数	面積
村山	6	15.6	44	237.4	6	76.6	56	329.6
最上	1	1.6	11	153.0	0	0.0	12	154.6
置賜	0	0.0	56	133.7	8	125.7	64	259.4
庄内	0	0.0	1	272.5	10	366.3	11	638.8
県計	7	17.2	112	796.6	24	568.6	143	1,382.4

項目	環境保全を重視した施策の展開	NO	1-2
事業名	森林資源再生事業		
事業費	11,933 千円	担当部局課	農林水産部 林業振興課

1 目的

主伐後に再造林を行う仕組みを構築し、造林未済地の解消を目指す。

2 事業概要

- ・事業内容 : 森林組合等が行う植栽に対し、経費の一部を支援する。
- ・事業主体 : 森林組合等
- ・事業量 : 80ha (計画)
- ・事業費 : 11,933千円
- ・補助率 : 再造林の1ha当たり標準経費の12%相当額
(合わせて国庫補助事業を活用した場合、実質補助率は80%)

○ 平成28年度実績実施状況

- ・交付申請受付中
(申請期限 : 春季9月12日、秋季11月30日、秋季追加2月15日)



【参考】伐採跡地への再造林の状況(H27)

項目	環境保全を重視した施策の展開	NO	1-3
事業名	森林資源循環利用促進事業		
事業費	53,172 千円	担当部局課	農林水産部 林業振興課

1 目的

間伐で発生する低質材をラミナ・合板等用材やペレット等の木質バイオマス燃料用材として利用するための搬出への支援。

2 事業概要

① ラミナ等利用促進事業

間伐により発生した木材のうち低質材について、ラミナ（集成材）や合板、製紙・ボード用チップ等の用材として工場に出荷した場合に一定額を助成する。
（ラミナ等用材：400円/m³）

② バイオマス燃料利用促進事業

間伐等により発生した木材のうち低質材について、木質バイオマス燃料のチップやペレットの原料として工場に出荷した場合に一定額を助成する。
（間伐材の熱利用：2,000円/m³、間伐材の発電用：500円/m³、
森林経営計画認定森林の林地残材（熱利用・発電用）：500円/m³）

・ 平成28年度実施状況

ラミナ等利用促進事業	27,500 m ³	（計画： 49,000 m ³ ）
バイオマス燃料利用促進事業	19,700 m ³	（計画： 25,000 m ³ ）
合計	47,200 m ³	（計画： 74,000 m ³ ）

実施状況



林内からの集材



土場への集積・仕分け



トラックで工場へ運搬

用途ごとに
加工工場に運搬



ラミナ材加工工場



木質バイオマス燃料加工工場



合板工場

項目	環境保全を重視した森林資源の循環利用の推進	NO	1-4
事業名	広葉樹林健全化促進事業		
事業費	6,250 千円	担当部局課	農林水産部 林業振興課

1 目的

- ① ナラ枯れ被害の拡大防止
- ② 広葉樹林の更新（若返り）
- ③ 森林資源の有効活用

2 事業概要

ナラ林を主体とする広葉樹林の小規模皆伐（おおむね5ha以下）を実施する森林所有者、森林組合、素材生産業者等に対し、伐採搬出経費や大量集積型おとり丸太の設置経費（合成集合フェロモンの誘引効果による面的防除）の一部を助成する。

3 平成28年度実施状況（7月末現在）

① 広葉樹の伐採搬出支援

1,300m³
 （計画量：6,150m³）

② 面的防除支援「大量集積型おとり丸太の設置」

1 箇所
 （計画：2 箇所）



伐採作業と集材・搬出の状況



「大量集積型おとり丸太」実施状況



森林資源の有効活用